

石けんでの洗顔はニキビケアに有用であることを確認

牛乳石鹼共進社株式会社（代表取締役社長 宮崎 悌二、以下 牛乳石鹼）総合研究所は、石けんの主要成分である脂肪酸ナトリウム・カリウムなどの脂肪酸塩のアクネ菌（*C.acnes*）に対する殺菌性について検証し、殺菌効果が高いことを確認しました。また洗顔料などで使用されるアミノ酸系界面活性剤や両性界面活性剤などの洗浄成分に比べ、石けん成分がアクネ菌への殺菌効果が高いことも明らかにしました。

今回の研究成果は日本防菌防黴学会（2023年8月29日～30日 大阪府）にてポスター発表を行いました。

【背景】

この研究はお客様が当社石けんを洗顔に使用していることに着目し、石けん成分がニキビの原因の一つであるアクネ菌に効果があるのかを調べました。

これまでの研究では、脂肪酸については皮膚常在菌に対する殺菌性を示す報告はあったものの、洗浄剤（脂肪酸塩）としては報告が少なく、中には石けんの連用により顔面部のアクネ菌が増殖するという報告もありました。

■検証内容

皮膚常在菌としてニキビに関係するアクネ菌を対象に、脂肪酸塩及び、その他洗浄剤で汎用的に使用される界面活性剤について、洗浄剤の実使用状況を想定した条件下で殺菌性を確認しました。

■脂肪酸塩の殺菌効果について

結果として表1の示す脂肪酸塩は低濃度(50mM)でもアクネ菌を99.9%殺菌することが分かりました。

■汎用界面活性剤の殺菌効果について

石けん成分の一つであるミリスチン酸カリウムと、洗浄剤で汎用的に使用されるその他の界面活性剤におけるアクネ菌への殺菌性を確認しました。図1から、ミリスチン酸カリウムは他の洗浄成分に比べアクネ菌への殺菌効果が高いことがわかりました。

表1. *C.acnes* に対する 50mM 脂肪酸塩の殺菌効果

略記号	慣用名	殺菌率 (%)	
		Na	K
C12:0	ラウリン酸	99.9	99.9
C14:0	ミリスチン酸	99.9	99.9
C16:0	パルミチン酸	99.9	99.4
C16:1	パルミトレイン酸	99.9	99.9
C18:0	ステアリン酸	99.4	97.7
C18:1	オレイン酸	99.9	99.9
C18:2	リノール酸	99.9	99.9

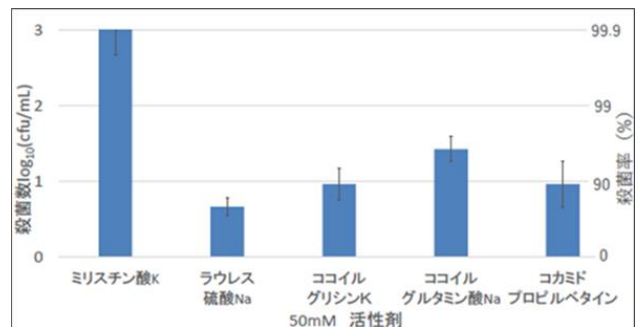


図1. アクネ菌に対する 50mM 界面活性剤の殺菌効果

【まとめ】

石けん成分はアクネ菌への殺菌効果があること、また洗浄剤で汎用的に使用されるその他の界面活性剤よりも高いことが分かりました。この結果から、石けんでの洗顔はニキビケアに有用であると考えます。

牛乳石鹼はこれからも石けんの有用性について研究を継続し、その成果を発信、より肌にやさしい製品づくりを行っていきます。